



学校だより

令和7年 7月18日
東京都立村山特別支援学校
校長 阿部 智子

〒208-0012
武蔵村山市緑が丘 1460 番地1
電話：042-564-2781

「2025年は夏季休業開始と共に梅雨明け、夏空となりそうです。」

急に雨が降り始めて、土砂降りになったり、青空が広がったり、とても不安定な天気が続いていて、教職員は傘をさしていても、びしょ濡れになりながら通勤して来ることがありました。土砂降りの雨が降ると、車の渋滞も起こり、スクールバスも時間通りの走行ができなくなることがあります。9月からの登下校もスクールバスに関しては、GPS等でバスの運行状況を御確認いただき、安全な登下校に御留意ください。

【総合防災訓練…暑い中、御理解、御協力ありがとうございました。】

7月9日(水)総合防災訓練を行いました。今年度は全校児童・生徒が、一日のタイムスケジュールに合わせて、地震避難訓練、起震車体験、煙体験、防災学習と、スクールバスターミナルや多目的室に分かれて順番に行いました。朝9時には、北多摩西部消防署から署員10名にお越しいただき、起震車の準備、煙ハウスの設置、消火器訓練の準備を整えてくださいました。下の写真、左側のように昨年に引き続き、前から起震車にあがる階段と、後ろから車いすのまま上がるリフトと、両方訓練できるタイプの起震車を御用意いただきました。煙ハウス体験や、実際に消火器を触って消火訓練をしてみるなど、充実した活動ができました。暑い中、早くからお越しいただき御準備いただいた北多摩西部消防署の皆様、本当にありがとうございました。

またこの日の午後は、13時20分から避難訓練の後、引き取り訓練を行いました。非常に暑い中、保護者の皆様には引き取り訓練に御協力いただきまして、本当にありがとうございました。

私は毎年この訓練を行うと、2011年3月11日14時46分に起こった東日本大震災の時、東京でも尋常ではない揺れだった、当時の勤務校での子供たちとの「あの時」のことを思い出します。

「あの時」の教訓からの訓練において、「その時」が学校生活での授業時間であるかはわかりませんが、「子供たちを守り、必ず保護者のもとに、不安なく、間違いなく帰っていけるように対応する。」という強い思いで、教職員には対応してもらっています。

最近、地震の回数が増えており、いつ何どきに地震が来るかもわかりませんから、「その時」は車での走行はどうであろうか、安全な道を通るならどのルートが良いであろうか等を御家庭でも話し合う時間としていただき、実際に災害時のルートとして家族間で確認するなど、いつも備えておく姿勢をもち、安全・安心な暮らしを計画的にシミュレーションしていただければと思います。児童・生徒の防災教育においては、自助、共助の気持ちを皆がもてるように、教職員一同で思いやりと信頼の心を育てていきます。



【図書プロジェクト活動について】

日本教育公務員弘済会東京支部の教育文化事業である弘済会学校図書助成事業に申し込みをして40冊の絵辞典や図鑑が届きました。夏季休業中に蔵書登録をして9月から貸し出しを行いますので楽しみにしてください。

また、本校舎の近くにある雷塚図書館に図書プロジェクトの先生たちと団体貸し出しの手続きに行ってきました。9月から雷塚図書館から団体貸し出しをしていただきます。図書プロジェクトの担当教員がジャンルごとにいろいろな本を借りてきますので児童・生徒の皆さんに読んでみたい本のリクエストをしてほしいと思います。

授業の中では、児童・生徒の言語活動の充実を図るために、今年度中学部で、「ビブリオバトル」の取組みを行いました。高校生書評合戦の公式ルールとは、少し異なりますが、パワーポイントを使用して好きな本の魅力的な部分

を発表するという「村山ビブリオ」です。図書コーナーの掲示板に、ビブリオバトルの発表の様子、本の紹介のためにまとめて作ったPOPカードを掲示しています。ぜひ生徒のおすすめの本を手にとって、感想などいただくと、これからの励みになります。ちなみにビブリオバトルの公式ルールは下記になります。

書評合戦(ビブリオバトル)の公式ルール

- ① 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- ② 順番に一人5分間で本を紹介する。
- ③ それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッション(質疑等)を2~3分間行う。
- ④ 全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなかったか?」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。



本校のPTA村山ブックローバーの活動もずいぶんと定着し、読書を楽しむ子供たちにとってはとても楽しい時間になっています。村山ブックローバーの皆様は、本の提示の仕方や、読むスピード、読み方、なんと発声練習まで行っているのです。9月18日(木)、25日(木)が読み聞かせの日になります。子供たちにとって続けていくことが力になります。絵本を読んでもらう子供たちも、絵本を読む保護者の方々も、楽しい気

持ちになるという豊かな時間になると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

【都立東大和高校との交流会】

7月14日(月)都立東大和高校生徒会メンバーと生徒の希望者22名と、本校高等部生徒の27名が交流会を行うことができました。両校生徒会が協力して企画・実施ということで、東大和高校の学校紹介スライドも趣向を凝らして作成してくれて、学校生活や部活動など丁寧に紹介していただきました。○×クイズや、ターゲットポッチャなど一緒に活動できたことは、コロナ禍では考えられないことで、大変良い経験になったと思います。仮設校舎になって本校舎より学校間の距離は近くなったのでこの日は歩いて学校から来てくれました。高校生として、特別支援学校の校舎の中に入ったのも初めての生徒もいたかと思えます。これからも同じ年代の仲間として、社会に出てからも障害を理解し、共に暮らすこと、災害時には、お互いどのような助け合いができるのかなど、考えていってくれるとよいと思います。



【研究活動・・・教職員の研究に関すること】

今年度本校では、年間指導計画の見直し、個別指導計画の充実、教科指導の授業改善をテーマに教員全員が研究授業を行っています。児童・生徒に付けたい力は何であるかを明らかにして、計画を1時間1時間の授業づくりに落とし込んでいながら、振り返りをして児童・生徒の考える力の育成について講師の先生方をお呼びして研究を深めています。7月16日(水)には、元文部科学省特別支援教育調査官、前筑波大学附属桐が丘特別支援学校校長の下山直人先生にお越しいただき、授業観察、授業改善への御助言、各教科を学ぶ意義、授業づくりについての御講義をいただきました。夏季休業中には「年間指導計画からの各教科の授業づくりについて」具体的な方策の検討を各学部、各グループに分かれて行います。子供たちが、「自分で考えたい、学びたい、学ぶことが楽しい」と表情や態度や言葉で表出してくれることが我々教員のやる気、元気の素です。暑い夏も、我々教員の学びを深めて9月を迎えたいです。

【夏季休業中の学校閉庁日について】

一人一台端末の導入により、ICTの活用も急激な発展を遂げたため、変化についていながらICT機器を使いこなすための努力が教職員に求められていて、子供たちへの指導力も問われています。今年度はICTに関する3つの研究指定校となり教職員は夏季休業などを活用し、急激な教育の流れや変化に追い付き、知識を身に付けるための研修などに取り組んでまいります。こうした流れの中で、今年度は、8月12日(火)から8月15日(金)が本校の学校閉庁日となります。

この期間は週休日同様、学校の代表電話はつながりません。緊急時には、お知らせしている学校携帯への御連絡をよろしくお願いいたします。良き夏季休業をお過ごしください。

校長 阿部 智子